ご利用案内

投映日時＝土・日・祝日（月曜日以外）

投映時間・内容（1～3 月）

11:00（小学生向け）	13:30（小～中学生向け）	15:00（高校生～大人向け）
それいけ！アンパンマン ～星空をかえせ～ ワンピース　プラネタリウム	太陽系の惑星 ワンピース　プラネタリウム 星空解説 ※1/11（土）「親子プラネタリウム」は別内容となります。	活動する宇宙 遥かなる銀河へ 星空解説

※希望投映は事前予約が必要となります。詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上（個人）	500 円
高校生以上 （団体 20 名以上）	400 円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート 1 枚につき、
　高校生以上 1 名無料

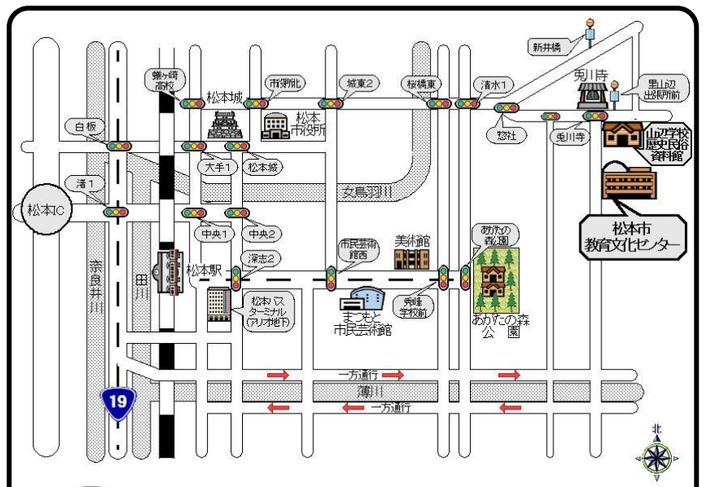
☆転入世帯優待券 1 枚につき、
　1 世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
　本人とその介助者 1 名無料

☆市内在住 70 歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



交通案内

〈バス〉　松本バスターミナル３番のりば（アリオ１階ホーム）より乗車
①入山辺線　里山辺出張所前より下車　徒歩１分（運賃 290 円）
②美ヶ原温泉線　惣社より下車　徒歩 15 分（運賃 240 円）

〈車〉　長野自動車道松本ＩＣより約 20 分　駐車場 60 台（無料）

☆☆ **星空音楽館企画委員募集** ☆☆

当センターで行われる「星空音楽館」の企画委員を募集しています。
企画の参加・プラネタリウムで流す音源の選定・当日の受付などを行います。
興味のある方は是非ご連絡ください。

松本市教育文化センター

〒390-0221　松本市里山辺 2930-1

TEL:0263-32-7600　FAX:0263-32-7604

E-mail:kyoubun@city.matsumoto.nagano.jp

教育文化センター プラネタリウム通信

No.7　2013.12.24

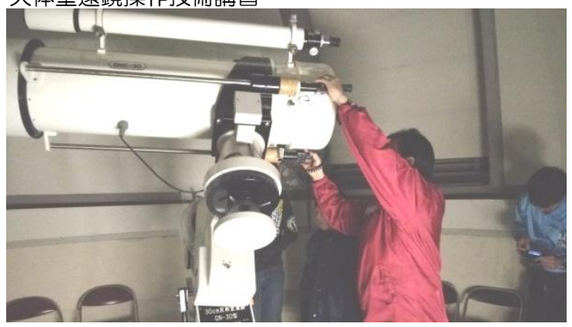
2014 年もよろしくおねがいいたします。

2013 年は、教育文化センタープラネタリウムを愛する多くの皆さまに支えられ、とても充実した一年を送ることができました。職員一同心より感謝いたします。

2014 年はより一層皆さまに寄り添い、活動に励んでいこうと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

2013 年活動の様子

天体望遠鏡操作技術講習



親子プラネタリウム

初日の出を見よう

2014 年元日の松本の日の出時刻は、6:59 です。松本は四方を山で囲まれているため、実際に日の出を拝めるのは、その 30 分～1 時間後くらいになります。1 日のうち、気温が最も低くなるのは日の出前頃と言われています。初日の出を待つ頃に最も冷え込むので、防寒対策をしっかりして体を冷やさないようにしましょう。

2014 年の主な天文情報

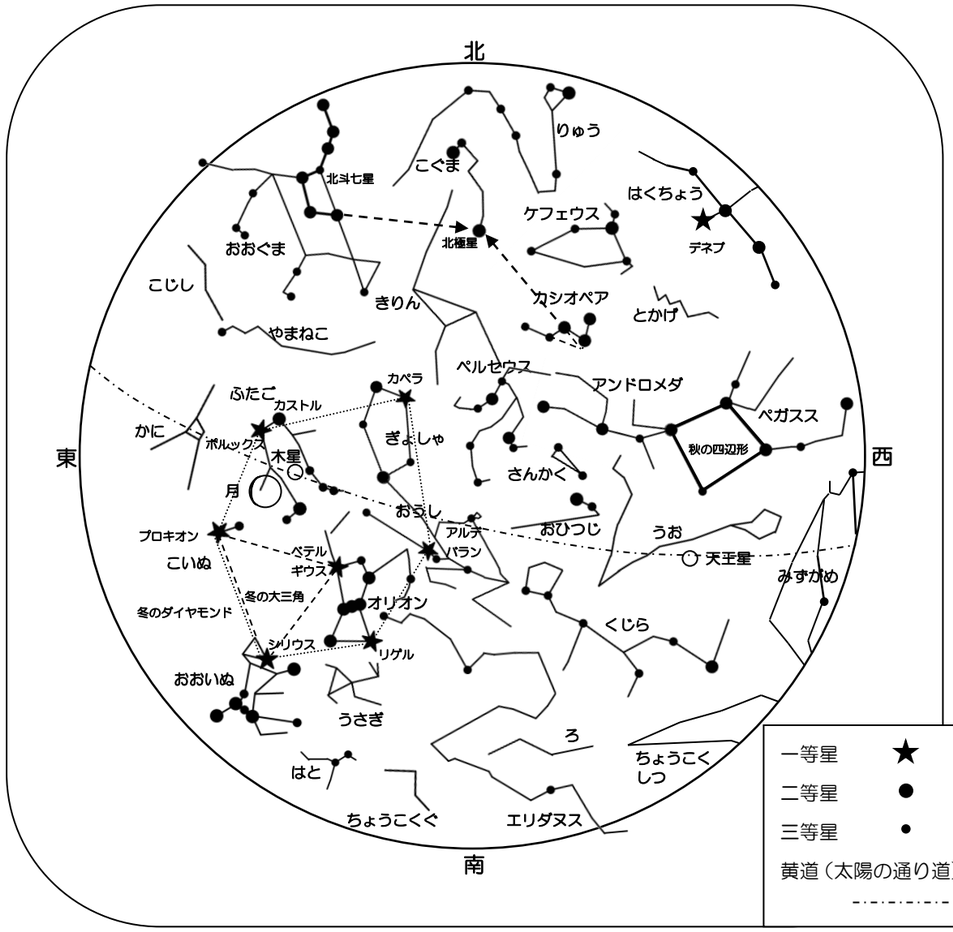
1/4	しぶんぎ座流星群が極大
1/6	木星が衝
4/9	火星が衝
4/14	火星が地球に最接近
5/11	土星が衝
8/13	ペルセウス座流星群が極大（月明かりがあり、条件はあまりよくない）
10/8	**皆既月食**
12/14	ふたご座流星群が極大（条件はあまりよくない）

極大（きょくだい）→流星群の活動が最も活発になること。この時に最も多くの流星が出現します。

衝（しょう）→外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晩中見えます。また、地球との距離が近く、大きく明るく見えるため、観測に最適。

季節の星空

1 月 15 日 20 時頃の松本の星空



1 月の主な天文情報

1(水)　元日、新月

4(土)　しぶんぎ座流星群が極大(午前 4:00 頃)(出現期間 1/1～7)

6(月)　木星がふたご座で衝

16(木)　満月

31(日)　新月、水星が東方最大離角

最大離角(りかく)→地球の中心から見たとき、太陽と内惑星が最も離れて見える角度のこと。
東方最大離角→太陽に対して、内惑星が東に最も離れて見える角度。地上からは、日の入り後の西の空で惑星が見えます。

今年最小の満月

1/16 の満月は、2014 年のうち最も小さい満月です。
月は、楕円形の軌道を通り地球の周りを回るため、月と地球の距離が近い時は大きく、遠い時は小さく見えます。今年は 1/16 に最も地球から遠ざかるため、最も小さく見えるのです。

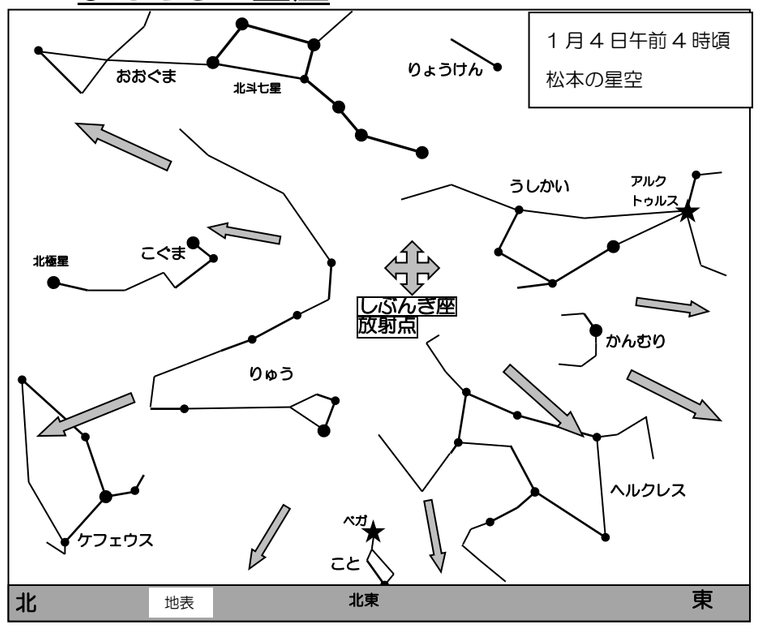
☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

1/11(土)　**☆親子プラネタリウム** 13:30～
親子連れの方を中心に楽しめるよう、番組の無料投映を行います。
今回のテーマは「冬の神話」です。申し込み不要。

1/25(土)　**☆星空散歩・星の観望会** 18:30～20:00
天体望遠鏡を使って、各季節の天文現象を観測します。
受付開始:1/15(水) 8:30 より　定員:40 人(小学生以上)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

まぼろしの星座



年明けの1月 1 日から 7 日にかけて、「しぶんぎ座流星群」が見頃を迎えます。

しぶんぎ座流星群は、8 月のペルセウス座流星群、12 月のふたご座流星群とともに 3 大流星群と呼ばれています。 活動の期間が短く、流星の数が多く見られるのは、極大(流星群の活動がもっとも活発になること)を迎える前後 1 日です。今年は 1 月 4 日の午前 4 時ごろ極大を迎え、この前後の数時間中に、最も多く流星を見られるでしょう。

流星群の名前は放射点(流星群の流星がやってくる方向)付近の星座から名付けられますが、「しぶんぎ座」は、現在では存在しない星座です。18 世紀にフランスの天文学者ラランドにより作られましたが、1928 年国際天文学連合により、88 の星座に定められた時に廃止されました。

しぶんぎ座があった領域は、現在ではりゅう座の一部となっているため、しぶんぎ座流星群は別名「りゅう座 ι(イオータ)流星群」とも呼ばれています。しかし、放射点がりゅう座の中心から離れすぎているため、しぶんぎ座流星群と呼ばれることが多いようです。

「しぶんぎ」は、天体の高度を観測するのに用いられた天体観測機器である「四分儀(別名:象限儀(しょうげんぎ))」に由来します。　(出典:国立天文台、月刊星ナビ、wikipedia)